

# 特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
48	被災者台帳の作成に関する事務

## 個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

堺市は、被災者台帳の作成に関する事務における特定個人情報ファイルの取り扱いについて、特定個人情報の漏えいやその他の事態発生による個人のプライバシー等の権利利益に与える影響を認識し、このようなリスクを軽減するための適切な措置を講じたうえで、個人のプライバシー等の権利利益の保護を実施していることを宣言する。

### 特記事項

被災者台帳の作成に関する事務では、事務の一部を外部業者に委託する場合は、業者選定の際に業者の情報の保護管理体制を確認し、併せて秘密保持に関しても契約に含めることで万全を期す予定である。

## 評価実施機関名

大阪府堺市長

## 公表日

令和1年6月27日

# I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	被災者台帳の作成に関する事務
②事務の概要	災害対策基本法に基づき、被災者の支援を総合的かつ効率的に実施するため、個々の被害状況等を一元的に集約した被災者台帳を作成する。 また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下、「番号法」という。)の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ・被災者支援台帳には、災害対策基本法第90条の3第2項に定める事項を記載する。
③システムの名称	被災者支援システム、中間サーバー、共通基盤システム、統合利用番号連携サーバー
2. 特定個人情報ファイル名	
被災者支援システムファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一の36の2 番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令第28条
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[ 実施する ] <span style="float: right;">&lt;選択肢&gt; 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定</span>
②法令上の根拠	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 1. 別表第二における情報照会の根拠 第一欄(情報照会者)が「市町村長」の項のうち、第二欄(事務)に「災害対策基本法による被災者台帳の作成に関する事務」が含まれる項(56の2の項) 番号法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令第30条
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	危機管理室 危機管理課
②所属長の役職名	危機管理課長
6. 他の評価実施機関	
なし	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	堺市 市長公室 広報部 市政情報課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 072-228-7439
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	堺市 危機管理室 危機管理課 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 072-228-7605

## II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[ 10万人以上30万人未満 ]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	平成31年4月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[ 500人未満 ]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	平成31年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[ 発生なし ]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

## III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価及び重点項目評価の実施が義務付けられる

## IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[ 基礎項目評価書及び重点項目評価書 ]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書
2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。		
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [ ]委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [ O ]提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[ ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 [ ]接続しない(入手) [ O ]接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[ ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 監査		
実施の有無	[ ] 自己点検 [ ] 内部監査 [ O ] 外部監査	
9. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[ 十分に行っている ]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない

## 変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
	I 関連情報				
平成28年10月31日	3.個人番号の利用 法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一の36の2	番号法第9条第1項 別表第一の36の2 番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令第28条		
平成28年10月31日	4.情報提供ネットワークシステムによる情報連携 法令上の根拠	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 1. 別表第二における情報照会の根拠 第一欄(情報照会者)が「市町村長」の項のうち、第二欄(事務)に「災害対策基本法による被災者台帳の作成に関する事務」が含まれる項(56の2の項)	番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 1. 別表第二における情報照会の根拠 第一欄(情報照会者)が「市町村長」の項のうち、第二欄(事務)に「災害対策基本法による被災者台帳の作成に関する事務」が含まれる項(56の2の項) 番号法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令第30条		
平成28年10月31日	5.評価実施機関における担当 部署	危機管理室 危機管理担当	危機管理室 危機管理課		
平成28年10月31日	8.特定個人情報ファイルの取り扱いに関する問合せ	危機管理室 危機管理担当	危機管理室 危機管理課		
	II しきい値判断項目				
平成28年10月31日	1.対象者人数	平成27年12月28日	平成28年10月1日		
平成28年10月31日	2.取扱者数	平成27年12月28日	平成28年10月1日		
平成29年4月1日	5.評価実施機関における担当 部署 ②所属長	坂本 成広	松田 彰浩		
平成30年4月1日	1.対象者人数	平成28年10月1日	平成30年4月1日		
平成30年4月1日	2.取扱者数	平成28年10月1日	平成30年4月1日		
平成31年4月1日	5.評価実施機関における担当 部署 ②所属長の役職名	松田 彰浩	危機管理課長		
平成31年4月1日	1.対象者人数	平成30年4月1日	平成31年4月1日		
平成31年4月1日	2.取扱者数	平成30年4月1日	平成31年4月1日		